

## 2025 年度事業報告書

〔 自 2025 年 4 月 1 日  
至 2026 年 3 月 31 日 〕

2026 年 5 月 28 日

一般社団法人日本チタン協会

## 1. 日本のチタン産業

[概況]

- 2025年度も航空機向けと一般産業向けの需要動向に二極化が見られた。  
航空機向けは一時的なサプライチェーン内での在庫調整はあるものの豊富な民間航空機の受注残を背景に総じて高いレベルを維持した一方で、一般産業向けは中国経済の減速およびトランプ関税による世界経済の不透明感や中国の過剰生産により停滞した一年となった。  
今後中東情勢の緊迫により世界経済の不確実性が増し、景気減速リスクが高くなると考えられ、日本のチタン産業の先行きについても不透明感が強まった。

[スポンジチタン]

- スポンジチタンの出荷実績について、2025年4～12月（38,495トン、年率換算≒51,300トン）の期間ではボーイングの品質問題等によるサプライチェーン内での在庫調整局面や一般産業向けでの中国の過剰生産の影響を受け、ペースを落としたものの比較的高い出荷レベルを維持した。

表 1. スポンジチタン出荷量推移 (単位：トン)

年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年4～12月
出荷量	48,333	56,978	57,784	52,142	38,495

[チタン展伸材]

- チタン展伸材の出荷実績について、2025年度（9,803トン）は、前年度比ほぼ横這いとなり、3年連続で前年度実績を下回った上に昨年度同様1万トンを割り込む低水準で推移した。  
これは、主要需要分野であるPHE（板式熱交）や電解用途において前年度比横這いで復調の兆しが見られなかったことも影響している。  
（PHE：2024年度3,172トン→2025年度3,267トン、電解：2024年度1,733トン→2025年度1,742トン）  
加えて安価な中国材の台頭もあり、一般産業用純チタンについては更なる競争激化が課題となる一年であった。

表 2. チタン展伸材出荷量推移 (単位：トン)

年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
出荷量	12,187	14,788	12,961	9,894	9,803

## 2. 各委員会の主な活動実績

### 2.1 表彰審査委員会

- ・2025 年度協会表彰として技術賞 3 名、協会事業功労賞 2 名、永年技術功労賞 5 名、賛助会員功労賞 2 社を選考

### 2.2 開発会議

- ・啓発活動として中学校理科副読本 1 万部の配布継続
- ・2026 年度チタン需要開拓助成事業審査
  - (1) 船舶・海洋部会
    - ・(国研)海上技術安全研究所との連携継続
  - (2) 医療部会
    - ・「医療用チタンガイドブック」を活用した啓発および需要拡大活動
    - ・各展示会へ出展し医療用チタン材の PR 活動実施 (Medtec Japan/医療機器展 (4 月)、高機能金属展 (大阪 5 月、東京 11 月))
  - (3) 賛助会員部会
    - ・「チタン講習会 (初級編)」の開催 (東京 6 月、関西 7 月)
    - ・賛助会員総会開催 (東京 7 月、2 月)
      - ① ファスナーWG
        - ・高強度チタン合金製ねじの規格化推進 (日本ねじ研究協会との連携)
        - ・各展示会へ出展しファスナー用チタン材の PR 活動実施 (軽量化技術展 N プラス 10 月)、(高機能金属展 大阪 5 月、東京 11 月)
      - ② 福祉・医療 WG
        - ・人間総合科学大学義肢装具学科との情報交換実施
      - ③ 加工技術 WG
        - ・賛助会員相互連携による需要開拓活動推進
      - ④ 西日本支部
        - ・西日本地区の賛助会員の交流支援、西日本支部総会開催 (尼崎 9 月、1 月)

### 2.3 業務委員会

- ・総会および理事会の議案検討、会員異動審査
- ・米国チタン協会 (ITA) 年次総会向け会長プレゼン資料の検討
- ・関係官庁や関係団体との連携、通商課題の共有

### 2.4 編集委員会

- ・協会活動やチタンに関わる情報を閲覧できる協会機関誌「チタン」の 4 回/年発刊
- ・各委員会、分科会や WG 活動および協会行事を適時紹介
- ・ホームページでのバックナンバー検索機能追加を意思決定

### 2.5 環境委員会

- (1) 環境安全分科会
  - ・スポンジ 2 社による安全衛生に関わる安全交流会を実施
  - ・日本酸化チタン工業会との連携によるチタン廃棄物放射線規制適正化活動
- (2) カーボンニュートラル分科会
  - ・日本のチタン産業におけるカーボンニュートラル行動計画の策定
  - ・チタン展伸材製造時の CO2 排出量試算結果検証、チタン使用による CO2 排出量抑制貢献量算定

① サーキュラーエコノミーWG

- ・チタンリサイクルの実態調査に着手

## 2.6 技術委員会

- ・チタン規格 JIS、ISO 標準化推進
- ・第 17 回学生向け工場見学会とセミナー（8 月）および第 30 回チタン講習会（10 月）の実施

### (1) 材料分科会

- ・ISO 規格化および ISO 規格定期見直しと ASTM 改定への対応

### (2) 耐食性分科会

- ・耐食性に関わる課題個別対応

### (3) 非破壊検査分科会

- ・非破壊検査に関わる課題個別対応

### (4) 分析分科会

- ・JIS 見直しおよび ISO 規格化に向けた原案を作成

### (5) 溶接分科会

- ・溶接に関わる課題個別対応

### (6) 規格調整委員会

- ・ASTM 材料規格に関する活動は材料分科会に委託

## 2.7 ISO/TC79/SC11 国内対策委員会

- ・ISO 規格化に向けた原案作成と国際会議の参加（10 月アメリカ開催）

## 2.8 産学連携委員会

- ・2026 年度「チタン研究助成制度」の審査で 3 名を選考
- ・チタン学会との連携（6 月教育講演、10 月講演大会）
- ・日本機械学会 hcp 分科会への参画および軽金属学会との連携

## 2.9 協会事務局

- ・WG 等現下の状況に見合った組織の見直し
- ・業務効率化、経費節減への取り組み

## 3. 会員

### 3.1 会員数（2026 年 3 月末時点）

正会員 16 社、賛助会員（法人）150 社、賛助会員（個人）26 名  
cf. 2025 年 3 月末時点

正会員 16 社、賛助会員（法人）157 社、賛助会員（個人）31 名

### 3.2 会員の異動

#### (1) 賛助会員の入会（理事会承認）

2025 年 7 月 アーガス・メディア・ジャパン株式会社  
兼松株式会社

2025 年 10 月 株式会社ナイカイアーキット

2026 年 2 月 株式会社今橋製作所

#### (2) 賛助会員の退会（理事会報告）

2025 年 5 月 オリンプス株式会社  
堺鋼板工業株式会社  
シーコム株式会社

有限会社ソラ  
株式会社太陽特殊金属  
ハウメットシステムズジャパン株式会社  
株式会社富士興産  
株式会社吉増製作所  
2025年11月 SAMHWA STEEL (韓国)  
阪神金属工業株式会社  
東京ブレイズ株式会社

## 4. 役員

### 4.1 2025年度役員 (敬称略、所属・役職は当時)

理事 (会 長)	門脇 良策	(株)神戸製鋼所 執行役員 素形材事業部門長
理事 (副会長)	川福 純司	(株)大阪チタニウムテクノロジーズ 代表取締役社長
理事 (副会長)	高宮 伸	大同特殊鋼(株) 執行役員 鋼材営業本部 本部長
理事 (副会長)	秋本 学	日鉄物産(株) 執行役員
理事	山尾 康二	東邦チタニウム(株) 代表取締役社長
理事	寺井 健	日本製鉄(株) 参与チタン事業部長
理事	青木 久尚	三井物産メタルズ(株) 常務執行役員
理事	大槻 智之	住商メタレックス(株) 執行役員 高機能・テクノロジー事業部長
理事	都築 博幸	アルコニックス(株) 執行役員 軽金属・銅製品・チタン本部長
理事	藤原 紀仁	神鋼商事(株) 執行役員 金属本部 鉄鋼ユニット担当
理事	松原 圭司	阪和興業(株) 取締役専務執行役員
理事	正木 伸晴	JX 金属(株) 常務執行役員 機能材料事業部長
専務理事	村上 仁	(一社) 日本チタン協会 事務局長
監事	持田 哲	伊藤忠メタルズ(株) 執行役員
監事	小武 卓見	伊藤忠丸紅鉄鋼(株) 執行役員 鋼材第三本部長

## 5. 会議

### 5.1 総会

(1) 2025年度通常総会 (2025年5月22日開催)

正会員16社全社 (委任状8社含む) が出席し、以下の議案を審議の上、承認した。

第1号議案 2024年度事業報告および決算の承認

第2号議案 任期満了に伴う役員を選任 (理事・監事)

### 5.2 理事会

(1) 第348回理事会 (2025年5月22日開催)

理事13名の内8名、監事1名が出席し、以下の議案を審議の上、承認した。

第1号議案 2024年度事業報告および決算の承認

(2) 第349回理事会 (2025年5月22日開催)

理事13名の内11名、監事2名が出席し、以下の議案を審議の上、承認した。

第1号議案 会長、副会長、専務理事、運営委員会委員の選任

- 第 2 号議案 委員長委嘱の承認
- 第 3 号議案 コンサルタント委嘱の承認
- 第 4 号議案 2025 年度臨時総会の招集

(3)第 350 回理事会 (2025 年 9 月 12 日 定款第 29 条 2 項に基づき書面審議)

- 第 1 号議案 2025 年度事協会表彰者の決定

(4)第 351 回理事会 (2025 年 11 月 27 日開催)

理事 13 名の内 10 名、監事 2 名が出席し、以下の議案を審議の上、承認した。

- 第 1 号議案 2025 年度補正予算案の承認
- 第 2 号議案 賛助会員入会の承認

(5)第 352 回理事会 (2026 年 3 月 25 日開催)

理事 13 名の内 9 名、監事 2 名が出席し、以下の議案を審議の上、承認した。

- 第 1 号議案 2026 年度事業計画および一般会計収支予算案の承認
- 第 2 号議案 賛助会員入会の承認
- 第 3 号議案 2026 年度通常総会の招集

### 事業報告の附属明細書

2025 年度事業報告には「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないため、定款 33 条 (2)に規定する事業報告の附属明細書は作成しない。

以 上